

別記様式

議 事 録

会議の名称	岩倉市特別職報酬等審議会（第2回）
開催日時	令和6年1月23日（火） 午後2時から午後3時まで
開催場所	市役所7階 第1委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	委員：浅井 貴史、宇佐美 隆久、伊藤 憲治、河合 良弥、 野口 臣一、山田 幹夫、小笠原 三代子 欠席委員：小川 隆、吉川 朋宏、村上 貴司 説明者：総務部長、秘書企画課長、同統括主査及び主任
会議の議題	特別職の報酬等について
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
会議に提出された 資料の名称	別添「会議資料」のとおり
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 審議

・資料9、10の説明

事務局から配付資料の説明。

会長：資料に対する質問などはあるか。

委員：資料9は令和4年度までの実績があるが、資料10の実績は令和3年度までであるのはなぜか。

事務局：岩倉市としての実績は集計済みであるが、全国順位、類似順位などが示されていないためである。

委員：人件費率が非常に高い（県内37都市中31位、全国792都市中の714位）理由は、職員数が多いということか。

事務局：人件費率は歳出予算に占める人件費の割合である。ラスパイレス指数が突出しているわけではないので、職員数が比較的多いことは要因として考えられる。また、公共事業費が多い年度については、予算規模が大きくなることから相対的に人件費率は下がる。

委員：比率を下げることはできるのか。

事務局：例えば、保育園を新設する予定があるが、このことにより当該年度の人件費率が下がることは考えられる。

委員：岩倉市の人件費率はR2決算とR3決算で3ポイントも違うので、公共事業費により増減があるものと認識できる。また、岩倉市のように人口の少ない都市であっても最低限必要な職員数があり、人口の多い都市に比べて高くなってしまいう傾向もあると感じる。デジタル化を推進するなどして職員数を減らすことができると良い。

事務局：R2決算からR3決算で3ポイント増えたのは、令和2年度に国民一人あたり10万円を給付する事業があり、予算規模が大きくなった。結果的に令和3年度と比率として3ポイント増えたと考えられる。他の自治体も同じ状況であるので順位に影響はないが、3ポイント増えた要因とは考えられる。

委員：財政力指数が低いのに報酬等を上げることはどうか。10万円を給付する事業など突発的な事業を実施する際は臨時で職員を増やすのか。

事務局：状況にもよるが、職員を急に増やすことは難しいので、コールセンターなどを民間に委託する場合もある。

委員：過去に職員を大幅に減員したと聞いたが、いつのことか。

事務局：随分前のことである。一時的に370名程度まで減員したが、現在はその時点から増員している。

委員：市民サービスを第一に考えること、また職員のスキルアップが必要である。また、市民サービスには費用がかかるので、財政力指数を上げる取組みが必要である。税収を増やすまちづくりを進めてほしい。

委員：資料10の6ページに将来負担比率とあるが、岩倉市は令和3年度の数値が10.1%であるのに対して、犬山市、江南市、小牧市は「－」となっている。将来負担比率がマイナスということは、負債がなく潤っているという認識でよいか。また、江南市とは財政力指

数は同順位であるが、将来負担比率を考慮すると、江南市は岩倉市より財政力があるということか。

事務局：将来負担比率は、市の借金（市債）から貯金（基金）を差し引き、将来に負担すべき実質的な負債を示す指数である。マイナスである自治体は貯金（基金）の方が多い。岩倉市は借金のほうが多いということである。

委員：財政力指数には将来負担比率が考慮されているか。

事務局：財政力指数と将来負担比率とは関連性が低い。

委員：資料10の6ページにあるが、将来負担比率がR2からR3に16ポイント改善されている要因はなにか。

事務局：新型コロナウイルスの影響により事業の中止、縮小が多かったため、不用額を基金に積み立てた。結果として、貯金（基金）残高が増えたためである。

委員：負債はなくすべきではないのか。

事務局：少ない方が望ましいが、計画的に返済ができています。負債がないことが必ずしも良いわけではなく、公共施設などは将来の方も利用するので、現在の世代だけで負担するのではなくバランスを見て市債を発行していくことに問題はない。

会長：事務局として岩倉市の財政状況はどう考えるか。

事務局：人件費率は高いが、健全な財政運営ができていますと考えています。

・審議について

会長：市長の給料について一人ずつ意見を聞きたい。

委員：個人の感覚として、市長の給料は低いと感じるが、江南市の答申内容を考慮すると「据え置き」である。

委員：「引き上げ」と考える。

委員：「据え置き」と考える。物価上昇も懸念するが、江南市の答申内容に納得感がある。

委員：「据え置き」と考える。

委員：「据え置き」と考える。岩倉市長の給料は近隣市町の中でも高い水準である。

委員：最低賃金が上がっていることなどを考慮して「引き上げ」と考える。また、本審議会の委員を何度か委嘱されているが、岩倉市長の給料が一度も改正されていないことも懸念している。

会長：欠席委員から意見などはあったか。

事務局：〇〇委員からは財政状況が良好であれば引き上げも考えられるが、江南市と同位であることから「据え置き」との意見をいただいている。△△委員からは、物価上昇や近年引き上げられていないことを考慮して「引き上げ」との意見をいただいている。

会長：「据え置き」多数のため、審議会としては、「据え置き」という結論で良いか。

委員一同：異議なし。

会長：その他の職の報酬等についてはどうか。

事務局：前回の審議会では、市長の給料に対する結論と連動すべきだという意見があり、「据え置き」となっている。

委員：市民感情を想像すると、物価上昇や、自身の給料が上がらないという状況において理解を得られるか疑問である。その他の職についても「据え置き」とすべきである。

委員：市長の給料に対する結論に連動すべきであると考え。市長が「据え置き」であることから「据え置き」と考える。

委員：市民感情を考慮して「据え置き」と考える。ただし、県内市で低い水準である職については、将来的に検討してもよいと考える。

委員：議員報酬は、民間企業における給料と比較して低いと感じる。議員報酬は「引き上げ」と考える。

委員：「据え置き」と考える。岩倉市では7割の方の可処分所得が170万円程度と聞いたことがある。市民感情を考慮すると「引き上げ」は考えにくい。

委員：市長の給料に対する結論に連動すべきと考える。市長が「据え置き」であることから「据え置き」と考える。

委員：岩倉市は普通交付税の交付団体なので「引き上げ」とはしづらい。

会長：他の職についても「据え置き」を、本審議会の結論としてよいか。

委員一同：異議なし。

・答申について

会長：答申書に記載する内容については、事務局と会長により作成し、各委員へ確認したいがよいか。

委員一同：異議なし

2 その他

特になし